

小郡市地域おこし協力隊
による活動報告コラム。

小郡農業活性化

小郡で育てて

小郡で食べる

日々の活動を
配信中!

小郡市地域おこし協力隊

moromoro82

nougyou_ogori82

市産の農作物を、
多くの消費者へ



諸岡佳紀(もろおかよしき)

1984年、佐賀県生まれ。京都の大学を卒業後、金融業界、新聞社で10年間勤務。小郡市に住む友人の影響で、まちの魅力を身近に感じ、地域おこし協力隊に興味を抱く。35歳の節目に一念発起で応募。



「農」がテーマのフォトコンテスト、金賞は光行の河原さん



金賞を受賞した
河原さん



昨年秋に、田園都市・小郡の魅力を再発見してもらおうと、市民活動団体「Fromおごり」が、農をテーマに企画したフォトコンテスト「おごりスマイル」。一般投票による受賞作品を決定し、2月に表彰式を行いました。

金賞は、光行の河原良子さんが撮影した満開のトルコキキョウ。受賞について「嬉しかね。花農家としての52年が認められたこと」と喜びを語ってくれました。取引先のスタッフの勧めでコンテストに応募したとのこと、「いつもと変わらん風景をただ撮ってみたよ」と、この飾らない思いが票を集めたようです。

銀賞には、鳥栖市の男性が撮影した一枚、2歳の娘さんが稲穂を力強く握る作品が選ばれました。表彰式には娘さんも参加し、たくさんのお票が集まった自分の写真に、「稲刈り楽しかったよ」とでも言わんばかりの笑顔でした。

コンテストのテーマ「農」は、すべて自然の中の営み。その一端をカメラに収める自然の恵みに思いを馳せ、楽しみを見つける——そんなイベントが農業のまちならではの名物になれば良いですね！「Fromおごり」は第二弾も計画しているそうです。お楽しみに。



おごりスマイル
ホームページで作品
を紹介しています。



Ogostagram

地域おこし協力隊の日々の活動記録。



在福岡ベトナム総領事館のヴー総領事が、12月、技能実習生の活躍を見ようと、干潟の農業法人を訪問しました。



年末に上町区と中町区が、区内の高齢者に農産品をプレゼント。区長さんがサンタ姿で米や黒豆、ニンジンをお届けしました。



生産者直売所「宝満の市」の農産品は、市内の学校給食に採用されています。1月に御原小学校の5年生20人からお礼の手紙が届きました。



市内の米農家さんが、明治時代に生まれ昭和中期に生産が途絶えた伝説の米「三井神力」を生産しています。現在では全国見渡しても生産は光行の57アールだけ。



三井高校スイーツ部が「うまいっしょ北海道全国高校生料理選手権」に出場。地元の小松菜などを材料にコウノトリにちなんだメニューで挑み、敢闘賞でした。



大崎の松尾農園が生産したイチジクをジャムに6次加工しています。添加物を一切含まず体に優しく、また味わいも素朴で優しい。宝満の市で販売中。